学校番号	319

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「詳述倫理」（実教出版）						
副教材等	「最新図説倫理」（浜島書店）「完全 MASTER 倫理＋公共問題集（新訂版）」（清水書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

倫理は、言語を持って以来人類が、世界の存在や生死の意味について思考を深めてきた 2500 年を、思想の学習を通じて振り返り、それを通じて、現在の自分の人生や世界の様々な問題を考えるための手がかりにする科目です。また、現代の世の中で常識となっている考え方がどのような背景で生まれてきたのか、また、その常識は本当に普遍的な真理といえるのか。日常生活では立ち止まって疑問に思うことがないようなことも、立ち止まって、原点に立ち返って、その根拠を考えてみる科目でもあります。事項の学習・暗記という受け身に留まらず、過去の思想家や思想に挑戦するつもりで、自分の頭で、「それは果たして普遍的なのか？それは本当にみんなの幸福につながるのか？」と考えながら、勉強していきましょう。

２　学習の到達目標

（１）（知識及び技能）古今東西の幅広い知的蓄積を通して，現代の諸課題を捉え，より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
（２）（思考力・判断力・表現力等）自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や，現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して，論理的に思考し，思索を深め，説明したり対話したりする力を養う。
（３）（学びに向かう力、人間性等）人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり，他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	それぞれの単元で学ぶ思想の重要な概念や基本的な考え方を十分に理解できている。	それぞれの単元で学んだ思想や、理想とされる生き方を踏まえて、自己の在り方生き方について多面的に考察し、適切に表現できている。	単元の学習を通じて、人間としての在り方生き方に関わる課題について主体的に深く追究したり，よりよい人間関係を形成しようとしたりすることができている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第1節 青年期の課題と自己形成 1．青年期とは何か 2．自己形成の課題 3．よりよい生き方を求めて	・青年期の特徴を理解する。 ・人生における青年期の意義を理解する。 ・パーソナリティの理論や青年期において直面する葛藤や欲求不満などの困難とその対処法を理解する。 ・青年期の発達課題を理解する。 ・ウェルビーイングや生きがい，生きる意味についての考え方を理解する。 ・個性化と社会化について理解する。	a: 青年期の特徴と意義について理解している。 パーソナリティの理論,葛藤や欲求不満とその対処法,青年期の発達課題について理解している。 ・防衛機制のそれぞれの内容を理解している。 b: 人生における青年期の特徴と意義について,多面的に考察し，適切に表現している。 ・自己形成について，多面的に考察し，適切に表現している。 c: 青年期の特徴や意義への深い理解を通して，人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり，他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	小テスト、定期考査、演習ノートなど	定期考査、レポート、ノート、演習ノートなど	活動の様子の観察，レポート，口頭発表など
	第2章 人間としてのあり方生き方 第1節　ギリシア思想 1．ギリシア思想の誕生―自然哲学 2．ソフィストたちとソクラテス 3．プラトン 4．アリストテレス 5．ギリシア思想の展開	・ギリシア人の世界のとらえ方や考え方の変化について理解する。 ・ソフィストとソクラテスの考えの違いを理解する。 ・ソクラテスが大切だと考えた生き方を知り，よりよい生き方とは何か考察する。 ・プラトンの理想主義について理解する。 ・プラトンの考え方との違いを理解する。 ・善や幸福を実現するためにはどうすればよいか，考察する。 ・ヘレニズムの時代背景を知るとともに，エピクロス派とストア派の思想を理解する。"	a. 神話的世界観や合理的世界観の成り立ちを理解している。自然哲学者が世界をどのようにとらえたか理解している。 ・ソクラテスの主張を原典から読み取っている。 ・プラトンのイデアなどの意味を理解している。 ・プラトンとアリストテレスの考え方の違いについて理解している。 ・エピクロス派とストア派の違いについて理解している。 b. ・自然哲学者が果たした哲学的な意義について考察し，表現している。 ・ソフィストが登場した時代背景やソクラテスが真の知を探求した理由を考察している。 ・中庸や正義といった思想内容を，具体的な事象と関連づけて考察し表現している。 c. ソクラテスのめざした「善く生きること」、プラトンの理想主義の理解を通して，魂のよりよい状態とはどのようなことを指すのか自ら考えようとしている。 ・ヘレニズム時代の思想をふまえて，個人の幸福はどのように実現できるか見つめ直し，よりよく生きる自己を形成しようとしている。	小テスト、定期考査、演習ノートなど	定期考査、レポート、ノート、演習ノートなど	活動の様子の観察，レポート，口頭発表など

	第2節 キリスト教 1．古代ユダヤ教 2．イエス 3．キリスト教の誕生と展開 第3節 イスラーム	・ユダヤ教の成立やその教えを理解する。 ・イエスは，ユダヤ教のどういった点を批判し，神の教えをどのように表現したか理解する。 ・贖罪思想について理解する。 ・キリスト教がどのように広がっていったかについてまとめる。 ・イスラームの成立やその教えの内容を理解する。	a. ユダヤ教の基本的な教えを理解している。 ・「新約聖書」中の資料を読み、たとえを通してイエスが何を伝えようとしているか読み取れる。 ・贖罪思想について理解している。 ・アウグスティヌスやトマス=アクィナスの思想について理解している。 ・六信五行の内容について理解している。 b. ユダヤ教の基本的な教えをふまえて，戒律を厳格に守って生きることはどう捉えられていたかを多面的に考察し，適切に表現している。 ・イエスの思想を理解したうえで，「誰が襲われた人の隣人になったと思うか」に対して，自分なりの考察を表現している。 ・キリスト教におけるイエスの死の意味について多面的に考察し，適切に表現している。 ・イスラームの教えが国家，民族をこえて広く受け入れられている理由を、多面的に考察し適切に表現している。 c. ユダヤ教の理解を通して，宗教の持つ意味を考え、自己の生き方や宗教のあり方に対して関心を広げようとしている。 ・イエスの愛の教えを通して，自己のあり方を見つめ直し、他者との関わり方をとらえ直して，他者と共に生きる自己を形成しようとしている。 ・キリスト教の成立やその広がりに関する理解を通して，その成立過程や影響力について主体的に追究したり，理解を深めようとしている。 ・イスラームの理解を通して，信仰と日常生活との関わりに気づき、人間の生き方に宗教はどのように影響しているか考えを深めようとしている。	小テスト、定期考査、演習ノートなど。	定期考査、レポート、ノート、演習ノートなど。	活動の様子の観察，レポート，口頭発表など。
	第4節仏教 1．仏教以前のインド思想" 2．ブッダの教え 3．大乗仏教の成立とその教え	・バラモン教の教えやウパニシャッド哲学を理解する。 ・ブッダの教えを理解する。 ・ブッダの教えから理想の生き方を考察する。 ・大乗仏教の教えや実践を理解する。	a.業や輪廻など，バラモン教における人間の死生観、ウパニシャッド哲学の基本的な考え方を理解している。 ・ブッダの言葉を適切に読み取り，仏教の教えや求められる実践について整理している。 b. 業や輪廻の思想を手がかりにして，バラモン教の考え方をどのように自分なりにどうとらえるか，多面的に考察し，適切に表現している。 ・ブッダの教えや理想とされる生き方をふまえて，自己のあり方生き方について多面的に考察し，適切に表現している。 c. ブッダの教えの理解を通して，自己のあり方生き方を見つめ直し，よりよく生きるために何ができるか主体的に追究したり，考えを深めたりしようとしている。	小テスト、定期考査、演習ノートなど。	定期考査、レポート、ノート、演習ノートなど。	活動の様子の観察，レポート，口頭発表など。

	第5節 中国思想 1.「道」の自覚―孔子 2．儒家思想の展開 3．老荘思想	・孔子の言葉を読み取り，その教えを理解する。 ・孔子以外の儒家思想を理解する。 ・老荘思想を理解する。	a. 仁と礼について理解している。孔子の教えを原典資料から適切に読み取っている。 ・儒家においても考え方の共通性や違いがあることを理解している。 ・老荘思想がめざす道に即した生き方について理解している。 b. 孔子が理想とした「仁」は，具体的にどのような生き方において実現されるのか，適切に表現している。 孟子と荀子は，性と実現すべき善の関係をそれぞれどのようにとらえているか適切に読み取り，両者の人間観を考察し，表現している。 ・道に即した生き方について，日常生活など具体的な場面を想定して考察し，適切に表現している。 c. ・儒家思想の理解を通して，理想的な人間としてのあり方生き方について主体的に追究しようとしている。	小テスト、定期考査、演習ノートなど	定期考査、レポート、ノート、演習ノートなど	活動の様子の観察，レポート，口頭発表など
	第3章 社会・世界と人間としてのあり方生き方 第1節　人間の尊厳 1．ルネサンス 2．宗教改革 3．モラリスト	・ルネサンス期の時代変化について，文学や芸術などの側面から理解する。 ・宗教改革の動きやルター，カルヴァンの思想を理解する。 ・モンテーニュやパスカルの思想を理解する。	a. ・ルネサンス期の人々が，どのような生き方をめざしていたかについて理解している。 ・ルター，カルヴァンの思想について理解している。 ・モンテーニュやパスカルの思想を理解している。 b. ルネサンス期の芸術や思想をふまえて，人間らしい生き方について多面的に考察し，適切に表現している。 ・当時の教会権力に対して，ルターらが宗教改革で果たした役割はどのようなものであったか多面的に考察し，適切に表現している。 ・モンテーニュの主張をふまえ，現代でも文化の異なる人々への非寛容が対立や戦争をうみだしていることなどを参考に，自分の考えをまとめ，適切に表現している。 c. ルネサンス期の理解を通して，人間らしいあり方生き方とは何か主体的に追究しようとしている。 ・モラリストの思想の理解を通して，人間としてのあり方生き方について主体的に追究したり，他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	小テスト、定期考査、演習ノートなど	定期考査、レポート、ノート、演習ノートなど	活動の様子の観察，レポート，口頭発表など
	第2節　科学・技術と人間 1．近代の自然観 2．新しい学問の方法―経験論と合理論	・近代の自然観がどのように形成されたか理解する。 ・ベーコンの帰納法を理解する。 ・デカルトの演繹法を理解する。	a. ベーコンの四つのイドラについて理解している。 ・デカルトの方法的懐疑や物心二元論を理解している。 ・帰納法と演繹法を具体的事例を元に理解している。 ・経験主義の思想および大陸合理論の思想について理解している。 b. 機械論的自然観が社会や人々に与えた影響やについて多面的に考察し，適切に表現している。 経験論と合理論の違いは何か，「観念」「知覚」「実体」という言葉を使って適切にまとめて表現している。 c. 近代の自然観の理解を通して，合理的なものの見方や考え方に気づき，自らの思考の仕方や生き方とつなげて理解しようとしている。 「わたしは考える，それゆえにわたしはある」が真理であることをふまえて，自我とは何であるか主体的に追究し，思索を深めようとしている。	小テスト、定期考査、演習ノートなど	定期考査、レポート、ノート、演習ノートなど	活動の様子の観察，レポート，口頭発表など

後期	第3節　民主社会と自由の実現 1．民主社会の形成―社会契約説 2．人格の尊厳―カント 3．人倫―ヘーゲル	・社会契約説の考え方を理解する。 ・カントの道徳論を理解する。 ・ヘーゲルの精神と歴史の関係や弁証法を理解する。	a. ホッブズ，ロック，ルソーの思想の相違点について整理してまとめている。 ・カントの思想を原典資料から適切に読み取っている。ヘーゲルの弁証法ついて原典資料から適切に読み取っている。 b. 社会契約説が登場した意義について多面的に考察し，適切に表現している。 近代のヨーロッパの思想家たちは人間の尊厳をどこに見出したのか，ピコ，パスカル，カントの考え方をまとめて表現している。 c. 社会契約説、カント、ヘーゲルの理解を通して，社会のあり方に関わる事象や課題について主体的に追究したり，他者と共によりよく生きる社会を形成しようとしたりしている。	小テスト、定期考査、演習ノートなど	定期考査、レポート、ノート、演習ノートなど	活動の様子の観察，レポート，口頭発表など
	第4節　社会と個人 1．個人と社会との調和―功利主義 2．社会の進歩と変革 3．真理と行為―プラグマティズム	・アダム=スミスの思想や当時の社会状況を読み取る。 ・功利主義の思想を理解する。 ・実証主義や社会進化論を理解する。 ・空想的社会主義の意義を理解する。 ・マルクスの思想を理解する。 ・プラグマティズムの思想を理解する。	a. アダム=スミスの思想や功利主義の考え方について理解している。 ・空想的社会主義の意義を理解している。 ・マルクスの疎外や唯物史観などを理解している。 ・真理とは有用であってこそ意味があるというプラグマティズムの考え方について理解している。 b. ・真理とは有用であってこそ意味があるというプラグマティズムの考え方について理解している。 現代において，社会主義にはどのような意義があるのか考察し，適切に表現している。 c. ・功利主義や社会主義への理解を通して，幸福の見方や考え方，社会のあるべき姿について主体的に追究したり，他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	小テスト、定期考査、演習ノートなど	定期考査、レポート、ノート、演習ノートなど	活動の様子の観察，レポート，口頭発表など
	第5節 近代的人間の見直し 1．主体性の再定義―実存主義 2．近代的な「私」の問い直し―無意識の発見 3．思考は言語にしばられる―言語論的転回 4．社会関係のなかでの「私」の成立―構造主義	・実存を理解する。 ・実存主義の思想を理解する。 ・無意識の構造を理解する。 ・思考が言語の枠組みのなかで行われていることを理解する。 ・構造主義の思想を理解する。	a. フロイトの心の構造について理解している。 ・ソシュールやウィトゲンシュタインなどの思想について理解している。 ・ソシュールやウィトゲンシュタインなどの思想について理解している。 b. フロイトとユングの違いをふまえて，無意識とはどのような意味をもつのかについて，多面的に考察し，適切に表現している。 ・構造主義の思想について，日常生活の具体的な事象や課題を取り上げて多面的に考察し，適切に表現している。 c. 精神分析の理解を通して，自我とは何かを考えたり，人間としてのあり方生き方を考察したりして，自分とは何であるか問い直そうとしている。 ・言語論や言語哲学の理解を通して，私としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究しようとしている。 ・構造主義の理解を通して，人間としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり，他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	小テスト、定期考査、演習ノートなど	定期考査、レポート、ノート、演習ノートなど	活動の様子の観察，レポート，口頭発表など

	第6節　現代の暴力に抗して 1．生命への畏敬と非暴力の思想 2．暴力のあとで―理性, 人間, 他者の見直し 3．暴力のなかで―公共性, 正義, 共通善の実現	・生命が軽んじられている状況を前に，人間の理性や責任とは何かを理解する。 ・フランクフルト学派が問題視しているところを理解する。 ・ハーバーマスの思想を理解する。 ・ロールズやノージック, センの思想を整理する。 ・共同体主義の思想を理解する。	a. シュヴァイツァーが生命への畏敬で訴えていることについて理解している。 ・ガンディーは暴力に対してどのような態度を取るべきとしたか理解している。 ・フランクフルト学派が何を批判しているかについて理解している。 ・アーレントが重要視する活動について理解している。 ・リベラリズムとリバタリアニズムの思想の対立点を理解している。 b. 人間の暴力的な行為に対してどう向き合うべきであるかについて多面的に考察し, 適切に表現している。自由や平等など現代の様々な諸課題について具体的なテーマを取り上げ，多角的・多面的に考察し，適切に表現している。 c. 人間としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり，他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	小テスト、定期考査、演習ノートなど	定期考査、レポート、ノート、演習ノートなど	活動の様子の観察，レポート，口頭発表など
	第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚 第1節　古代日本人の思想 1．日本人の自然観と気質 2．神との関わりと道徳観	・日本人の気質や文化が自然や風土と関連して形成されたことを理解する。 ・日本人の道徳観の形成過程やその特質を理解する。	a. 和辻哲郎の文化の類型について理解している。 ・日本人の特質を理解するに当たり，古事記や万葉集などの原典資料を適切に読み取っている。 ・日本人の道徳観が日本の自然や古代神道などと関連していることについて理解している b. 日本人の特質を理解するに当たり, 古事記や万葉集などの原典資料を適切に読み取っている。 ・日本人の道徳観や人生観と，世界のそれとではどのような違いがあるか多面的に考察し，適切に表現している。 c. 日本人の気質や文化の理解を通して, 日本人としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究しようとしている。	小テスト、定期考査、演習ノートなど	定期考査、レポート、ノート、演習ノートなど	活動の様子の観察，レポート，口頭発表など
	第2節 日本の仏教思想 1．仏教の受容 2．仏教の日本的展開―鎌倉仏教 3．仏教と日本文化	・仏教の受容やそれが浸透した流れを理解する。 ・鎌倉時代の仏教が何をめざしてどのような考え方をもつか理解する。 ・日本の伝統的な文化や文芸が日本人の世界観や道徳観などと関わっていることを理解する。	a. 仏教の受容やそれが浸透した流れについて理解している。 ・仏教の受容やそれが浸透した流れについて理解している。 b. 仏教の受容やそれが浸透した流れについて, 自らの経験や考え方を手がかりに多面的に考察し，適切に表現している。 ・日本の仏教が身分や階級をこえて広く人々に受け入れられた理由を適切に表現している。 c. 鎌倉時代の仏教の理解を通して, 日本人としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究しようとしている。	小テスト、定期考査、演習ノートなど	定期考査、レポート、ノート、演習ノートなど	活動の様子の観察，レポート，口頭発表
	第3節 近世日本の思想 1．儒教の受容と朱子学	・林羅山の上下定分の理など江戸幕府が注目した朱子学を理解する。 ・朱子学と日本陽明学の違いに着目させる。	a. 朱子学の考え方や, 江戸幕府にとってそれがどのような意味をもったかについて理解している。 ・中江藤樹が強調した孝や良知などの考え方を理解している。			

	２．日本陽明学 ３．日本的儒学の形成―古学 ４．国学の形成 ５．民衆の思想 ６．幕末の思想	・日本独自の儒学思想としての古学の特徴や考え方を理解する。 ・本居宣長以降の国学の動きについても理解させる。	・山鹿走行が提唱した士道や伊藤仁斎の古義学，荻生徂徠の古文辞学の考え方について理解している。 b. 朱子学と，伊藤仁斎・荻生徂徠の人間に対する理解の違いを，自己と他者，あるいは個人と共同体という観点からまとめ，適切に表現している。 ・本居宣長と朱子学とでは，人間の本性に対する理解はどのように違うのか，多面的に考察し，適切に表現している。 c. 庶民の思想への理解を通して，日本人としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり，日本人としてよりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。 ・幕末の思想の理解を通して，日本人としてのあり方生き方について主体的に追究したり，よりよい社会形成のために何を基準に判断することが望ましいのか考えを深めようとしたりしている。	小テスト、定期考査、演習ノートなど	定期考査、レポート、ノート、演習ノートなど	活動の様子の観察，レポート，口頭発表
	第４節　西洋思想の受容と展開 １．啓蒙思想と自由民権思想 ２．キリスト教の受容 ３．国家主義の台頭と社会主義思想 ４．近代的自我の確立 ５．近代日本哲学の成立と超国家主義 ６．伝統の自覚と新たな課題	・外来の文化を受容することと，日本の伝統や文化の継承とを，どのように折り合いをつけていくべきか考察する。 ・内村鑑三の思想を理解する。 ・急激な社会変化に対してどのような道徳観や社会変革の考えがうまれたか理解する。 ・西洋文化が浸透し，急激に社会が変わるなかで，文学作品を通して個人のあり方生き方を追究する発信がなされたことを理解する。 ・日本でうまれた独自の思想を理解する。 ・小林秀雄や丸山眞男の思想を手がかりに，国際社会に生きる日本人としてどのような課題があるかについて理解する。	a. 明治初期の社会変化や啓蒙思想の流れを理解している。 ・内村鑑三の二つのＪ，無教会主義などの考え方をキリスト教の精神をふまえて理解している。 ・国家主義や国粋主義，社会主義の基本的な考え方を理解している。 ・ロマン主義や自然主義文学，女性解放論などについて原典資料からその考えを適切に読み取っている。 ・民俗学が注目した日本人の伝統や考え方について理解している。 b. 明治の思想家たちの思索の展開をふまえ，現代の日本ではどのくらい人権思想が定着したか考察し，適切に表現している。 ・明治から大正にかけて求められた近代的理念は，現在どのくらい実現したか考察し，適切に表現している。 ・日本人の伝統的な死生観・自然観は，生命倫理や環境倫理などの現代的課題を考察するうえでどのような意義をもつか考えをまとめ，適切に表現している。 c. ・近代的自我への理解を通して，日本人としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり，他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。 ・日本独自の思想の理解を通して，日本人としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり，他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	小テスト、定期考査、演習ノートなど	定期考査、レポート、ノート、演習ノートなど	活動の様子の観察，レポート，口頭発表など
	第５章 自然や科学技術にかかわる諸課題と倫理 第１節　生命の倫理 第２節　環境の倫理	・代理出産や臓器移植，ゲノム編集など生命をめぐる問題について考察する。 ・環境問題解決に向けた取り組みを理解する。 ・環境問題に関する思想家の主張を理解する。	a.インフォームド・コンセントやSOL，安楽死・尊厳死など生命倫理に関する用語や概念を理解している。 ・代理出産や臓器移植，ゲノム編集などの生命倫理の問題の賛否の考えを適切にまとめている。 ・環境問題解決に向けた取り組みについて理解している。 b. 生命をめぐる倫理的課題のうち，特に関心のあるテーマを取り上げ，どのような争点があるかを整理して，多角的・多面的に考察し，適切に表現している。	小テスト、定期考査、演習ノートなど	定期考査、レポート、ノート、演習ノートなど	活動の様子の観察，レポート，口頭発表

	第3節 科学技術の倫理	・プライバシーの権利や情報リテラシー，人工知能などについて考察する。	c.環境倫理への理解を通して，環境保全や人間としてのあり方生き方に関わる課題について主体的に追究しようとしたり，問題解決に向けて自ら考え自ら行動しようとしたりしている。			
	第6章 社会と文化にかかわる諸課題と倫理 第1節 福祉の課題 第2節 文化と宗教の課題 第3節 平和の課題	・ダイバーシティ＆インクルージョンを達成するためにどのような考え方・態度が求められるか考察する。 ・グローバル化における文化や宗教をめぐる様々な課題について考察する。 ・現実に存在する紛争やテロをふまえて，世界の平和を実現するために何ができるか考察する	a. ・高齢化など福祉の課題に関する統計資料について適切に読み取っている。 ・文化相対主義やオリエンタリズム，宗教多元主義など，文化や宗教をめぐる用語や概念を理解している。 ・世界の平和や紛争・テロに関する統計資料について適切に読み取っている。・世界の平和や紛争・テロに関する統計資料について適切に読み取っている。 b. 人類の福祉をめぐる倫理的課題のうち，特に関心のあるテーマを取り上げ，どのような争点があるかを整理して，多角的・多面的に考察し，適切に表現している。 ・世界の平和をめぐる倫理的課題のうち，特に関心のあるテーマを取り上げ，どのような争点があるかを整理し，多角的・多面的に考察し，適切に表現している。 c. 誰もが生きやすい社会の実現に向けて，私たちが考え，行動できることなどを考え，自らよりよい社会の形成にかかわろうとしている。 ・多文化共生のためにどのような取り組みがおこなわれているか調べようとしたり，留学生などをもてなす場合，どのような配慮や態度が求められるか考えを深めたりしようとしている。	小テスト、定期考査、演習ノートなど	定期考査、レポート、ノート、演習ノートなど	活動の様子の観察，レポート，口頭発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度